

<参考資料>

●各賞概要●

<感想文部門>

- ・大賞 : 子どもの部の全エントリーの中から学年に関係なく、審査員長が選んだ最も優れている作品
- ・低学年の部金賞 : 低学年の部の中から、審査員長が選んだ最も優れている作品
- ・中学年の部金賞 : 中学年の部の中から、審査員長が選んだ最も優れている作品
- ・高学年の部金賞 : 高学年の部の中から、審査員長が選んだ最も優れている作品
- ・審査員長賞 : 入選作品の中から、惜しくも大賞・金賞から外れたものの、未来に可能性を感じさせる、審査員長が選んだ作品
- ・社長賞 : 惜しくも一次審査は通過できなかったが、未来に可能性を感じさせる、ユニークで、感性豊かな作品の中から、日本コスモトピア代表 下向峰子が選んだ作品
- ・日本コスモトピア特別賞 : 一次審査を担当した日本コスモトピアの審査員が心惹かれた作品
- ・人生の先輩の部金賞 : 人生の先輩の部の全エントリーの中から審査員長が選んだ最も優れている作品

<感想画部門>

- ・グランプリ : 子どもの部の全エントリーの中から学年に関係なく、審査員長が選んだ最も優れている作品
- ・低学年の部優秀賞 : 低学年の部の中から、審査員長が選んだ最も優れている作品
- ・中学年の部優秀賞 : 中学年の部の中から、審査員長が選んだ最も優れている作品
- ・高学年の部優秀賞 : 高学年の部の中から、審査員長が選んだ最も優れている作品
- ・審査員長賞 : 入選作品の中から、惜しくもグランプリ・優秀賞から外れたものの、未来に可能性を感じさせる、審査員長が選んだ作品
- ・社長賞 : 惜しくも一次審査は通過できなかったが、未来に可能性を感じさせる、ユニークで、感性豊かな作品の中から、日本コスモトピア代表 下向峰子が選んだ作品
- ・日本コスモトピア特別賞 : 一次審査を担当した日本コスモトピアの審査員が心惹かれた作品
- ・人生の先輩の部優秀賞 : 人生の先輩の部の全エントリーの中から審査員長が選んだ最も優れている作品

●審査基準●

- ①表現力 : 分かりやすい文章で書いている。文章表現の技法に優れている点が見られる
- ②独創性 : 独自の考えや経験したことを効果的に盛り込んでいる
- ③訴求力 : 自分の主張や意見を訴えかける力に優れている
- ④意欲 : 読書の喜び、楽しさが感じ取れる

<コンクール応募者>

対象者 : わくわく文庫導入教室の生徒

<子どもの部>

- ①低学年の部 (～小学2年生)
- ②中学年の部 (小学3年生～4年生)
- ③高学年の部 (小学5年生～中学生)

<人生の先輩の部>

- ①シニア向け生涯学習『カルチャーレストラン』の受講者・スタッフ・オーナー
- ②『わくわく文庫』導入の教室の講師、オーナー、教室の生徒の保護者・家族

<歴代の審査員長>

- 第1回 (2012年) 加藤純子氏 (児童文学作家)
- 第2回 (2013年) 早坂隆氏 (ノンフィクション作家)
- 第3回 (2014年) 早坂隆氏 (ノンフィクション作家)
- 第4回 (2015年) 志茂田景樹氏 (直木賞作家)
- 第5回 (2016年) 池田あきこ氏 (絵本作家)
- 第6回 (2017年) 志茂田景樹氏 (直木賞作家)
- 第7回 (2018年) 池田あきこ氏 (絵本作家)
- 第8回 (2019年) ジェフ・バーグラント氏 (大学教授・タレント)
- 第9回 (2020年) 志茂田景樹氏 (直木賞作家)